

△▼ 研修会特集 事例報告 ▼△

## 図書室の利用指導

塚越 貴子

### I. はじめに

当室は平成12年6月に本館2階医師室の隣から新設した基幹災害センター2階に移転しました。移転前までは担当者不在の図書室だったので、院内での図書室の認識度は低く、情報機関として十分に機能しているとはいえませんでした。移転後、図書室便りやイントラネットでの広報を行い、レファレンス時に個別指導をしていましたが、利用者は限られていました。

そこで多種多様な全ての職員を対象に図書室の認識度を広げるために、新入職員オリエンテーションと看護研究講義に予定を組み込んでもらい、集団を対象にした利用指導の実践と図書室の広報活動の機会を得ることができました。

### II. 指導の目標

利用指導を効果的な内容にするために以下の3点を目標とし、計画を立てました。

1. 利用者が図書室で効率よく資料を探せるようにする。
2. 図書室が病院の研究・診療活動を支援している場であることを利用者に知ってもらう。
3. 利用指導を行うことで、図書室担当者自身の知識や技術の習得にもなる。

### III. 利用指導の具体例

三段階に分けた利用指導の事例を紹介します。

TSUKAGOSHI Takako

前橋赤十字病院

mrc-jrc@jcom.home.ne.jp

### 事例 I 図書室案内

～新入職員オリエンテーション～

対象：医師、看護婦、コメディカル

時期：4月/6月

時間：20分

場所：図書室/会議室

目的：病院図書室と専任職員の存在を印象付け  
図書室の基本的な利用方法とサービスについて  
知ってもらう。

詳細：

#### 1. 図書室の概要

場所、利用時間、時間外の利用について

#### 2. 図書室の利用方法

貸出、返却、延長手続きなど

#### 3. 室内の設備と使用方法

パソコンのスイッチの入れ方、コピー、FAX、  
プリンターの使い方

#### 4. 図書室のサービス

図書室にない文献の取り寄せ

図書の個人購入、書店への取次ぎ、支払いに  
ついて

#### 5. その他注意事項

### 事例 2 基本的な情報の探し方

～看護研究の情報検索講義～

対象：看護婦 60名

時期：3月下旬

時間：60分

場所：会議室

目的：基本的な情報検索の知識について学び、  
求める資料を効率よく探せるようにする。

詳細：

#### 1. 看護研究と文献

文献の種類と解説・文献調査の種類  
二次資料の構成と検索例・検索結果の見方  
検索結果の見方・引用文献の書き方  
文献所在確認と入手の方法

#### 2. インターネットの基礎知識

インターネットの基本用語解説  
看護研究に有用なホームページの紹介  
Power Point を使い、看護研究の基礎知識とインターネットについて2編にわけて講義を行いました。講義終了後、希望者には医中誌Webの検索手順を実践しました。

#### 事例3 専門的な情報の探し方

対象：看護研究グループ《予約制》

時間：90分

場所：図書室

内容：情報検索の実際

目的：知りたい情報に併せた二次資料の選択及び研究において必要な文献検索と入手方法、情報検索の概要をマスターする。

詳細：

各自テーマを決め、図書室の二次資料とインターネットを使い、情報検索の演習を行いました。

##### 1. マニュアル検索について

最新看護索引・日本看護関係文献集の検索方法

##### 2. インターネット検索について

インターネット検索手順・有用サイト紹介  
医中誌Webの基本的な使い方・電子メールの使い方

#### IV. 利用指導のポイントと手順

利用指導方法に際して、反省点も多く、今後の課題として指導のポイントを挙げてみました。

1. 利用者のニーズにあった利用教育を計画する。
2. 利用者をよくリサーチする。
3. 相手の理解度を考え一度に詰め込みすぎない。

い。

4. 視覚的にアピールする資料をつくる。
5. 始める前に利用指導の目的を明言する。
6. 話し方に工夫をする。
7. 参考資料の説明は簡潔にする。

当室での手順は、指導の前にアンケートをとり利用者の情報に対する認識度を把握します。そして調査を元に利用者の求めていることを察し、限られた時間内で押さえておきたいポイントを絞り込みます。情報の80%は眼から入ってくるといわれているので、説明に使うマニュアルは写真や画像を多用した誰が見てもわかることを心がけ、作成しました。事前に調査した結果、利用者の検索能力度がわかり、初級、中級と段階を踏まえた資料を何種類か用意しました。講義の前には指導の目的を明言し、図書室の支援体制をPRします。資料の紹介は簡潔にし、詳細を知りたい場合は図書室へと一言付け加えるだけでも利用効果はあると思います。

#### V. おわりに

利用指導を行った結果、利用者の情報に対する理解度を知ることができ、レファレンスの参考にもなりました。今まで利用することのなかった職員の利用が増え、利用しやすい雰囲気と図書室に対する関心が高まったように思われます。また院内における図書室の現状認識や利用者を知ることが必要不可欠なことであることを再認識しました。

今後は利用者からの問い合わせの多いPower Pointの使い方や論文の書き方などより研究に密着した利用指導の実践を考えています。

自身の課題としてより専門的で高度な技術と知識の習得を目指し努力していきたいと思っています。

#### 参考文献

- 1) 菅 利信：利用者教育のあり方。看護と情報 1997; 4: 73-76.